

2019年度 第4回 学校運営協議会 記録

- 1 実施期日 令和2年 2月3日(月)
14:00~15:30
- 2 会場 栃木市立栃第四小学校 会議室
- 3 参加者
黒宮 淳元 委員 小倉 治雄 委員 村上 一夫 委員 伊澤 泰子 委員
(会長) (副会長)
戸澤なほ子 委員 新村 純一 委員 渡邊 晴江 校長
渡辺 伸一 教頭(事務 進行) 石川 幸子 教務(記録)

4 協議会(概要)

(1) 学校長挨拶

インフルエンザ1年が2日間学年閉鎖。
本年度6年生23名、卒業に向かって頑張っている。
学校評価の御意見をいただき、次年度に向けての計画を進めていきたい。

(2) 学校評価 説明 (教頭)

学校評価についての見方、内容の説明。
学校評価(自己評価)結果と今後の取り組み まとめ

(3) 協議・意見交換 (司会:小倉副会長)

学校評価(自己評価)についての協議

委員さんより

- ・教職員の熱心な支援により、児童の意欲が高まっている。学校が楽しい。授業が楽しい。前向きな対応ができています。
- ・持久走では、みんな声を掛け合う様子が見られた。いい生活を送っていると思った。読書や早寝早起きについては、家庭での指導も大切になってくる。RTA会合を活用してはどうか。
- ・児童にあいさつをしてもらえてうれしいという地域の方がいる。
- ・学校評価の結果を分析し、今後それをいかして教育活動を行っていくと思うので、できることは協力していきたい。
- ・教職員が一人一人をよく見て指導している。読書量と学力は比例する傾向がある。家庭での協力も大切である。インフルエンザの予防については、換気(対角線で窓を開ける)が重要だと思う。
- ・栃木市はふるさと学習に関する教材に恵まれているので、有効に活用し学習に生かしてほしい。栃木市の歴史を教えてください。
- ・学校評価、満足している。四小の教師の指導が良いと思っている。四小の児童はとても素直でよい児童である。(第二公園に遊びに来る児童は少なくなった。)学校評価を今後の教育にいかしてほしい。

学校長より

- ・若い教員が多いので、経験値が少ないが、本気で指導を行っている。本音で向き合っている。

(4) 令和2年度学校経営方針(案)の説明 (校長)

向上無限という合言葉のもとに教育活動を行っている。
毎年、新たなメンバーで協働していく。
山本有三の精神を基盤とする教育を目指す。

(5) その他

教頭より

来年度の学校運営協議会の予定 4/22(水) 9/4(金) 11/13(金) 2/1(月)

(6) 学校運営協議会会長挨拶 (黒宮会長)

児童の安全安心のための取組を行っていききたい。

(7) 学校長謝辞、挨拶 (校長)

閉会